

講演「子どもたちに伝えたい、タバコの真実」 ～脳の弱点をつく依存のメカニズム～



250人余の方が参加した講演会・協議会



「参加者二〇〇人余！
楽しく交流を深めた懇親会」

新潟市

P T A

第24号

平成27年 3月
新潟市小中学校
P T A 連 合 会
新潟市中央区幸西
3-3-1 新潟会館

ホームページURL <http://www3.ocn.ne.jp/~shipren>

新潟市P T A交流会開催

新潟市小中学校P T A連合会の二六年度最後の事業「新潟市P T A交流会」が、去る一月三十一日(土)午後、ANAクラウンプラザホテル新潟を会場に開催されました。

第一部(講演会とグループ協議)の参加者が二五〇人余、第二部(懇親会)の参加者が二〇〇人余で会場があふれました。これらの様子については市P連のホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。

当日の大宮一真市P連会長のあいさつの概要は、以下の通りです。

「日P加入決定と会費十円値上げ！」

日頃より、市P連の活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。また、お忙しい中、新潟市小中学校校長会役員の方々ははじめ多数の先生方からもご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日は、協議会の前に、聖マリアンナ医科大学神経精神科原田久先生からご講演をいただきます。貴重なお話を聞けることを楽しみにしております。宜しくお願いいたします。

さて、この場をお借りして新潟市P連の現状について二点お話しさせていただきます。

先ず初めに、公益社団法人日本P T A全国協議会加入の件です。市P連は、昨年度新潟県P T A連合会から独立して活動してまいりました。二年前のこの会で臨時総会として県Pからの独立と、日本P T Aには今まで通り加入することを併せて決議しましたが、昨年

度は、日本P T Aの公益社団法人化に伴う日P事務局の不手際により、加入ができませんでした。今年度に入って、本部会・理事会で検討を重ねてきました。その結果、一月八日の第三回理事会で加入申請の決議をいたしました。その結果を踏まえて、一月一八日、日本P T A事務局を訪ね、直接日P会長に加入申請書を手渡しして参りました。その結果、来年度からの日P加入が決定いたしました。

そこで、来年度は市P連会費を日Pの会費分一〇円を値上げして一二〇円とする案を一月二四日の理事会で提案させていただきました。来年度の総会で決定することですが、単Pの予算に関係してきますので、前もってお話しさせていただきます。

次に、皆さんのテーブルにあります。「学校・P T A連携緊急対応」についてです。市P連本部役員と市小中学校校長会役員と協議・検討いたしました。作成させていただきました。この後のグループ協議の前に、緒方校長先生と本間市P連副会長から説明をさせていただきます。(※資料別紙)

三番目はお願ひですが、一般社団法人新潟県安全互助会の小中学生総合補償制度についてです。二月下旬ごろ各学校に加入案内が届きますので、確実に全保護者の手に渡るよう各学校・単Pでの配布をお願いいたします。

最後になりますが、年度の終わりのこの会が皆様にとって有意義な会になる事を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



感謝状受賞・下山中PTA



全体司会・中澤副会長



受付



万歳三唱・本間中央区P連会長



講演会



閉会の挨拶・吉田副会長



グループ協議会

「グループ協議会の話題について」

今年約四五分という短時間のグループ協議会でしたが、各テーブルでは例年通りたくさんの方が話題になりました。詳細は、市P連HPをご覧ください。

〈主な協議内容〉

- ・ PTA役員決め方
 - ・ 三役はやっぱり大変だ！（参考になることや楽しいことも多いけど）
 - ・ ふれ合いスクールとPTAの関係
 - ・ 「バザー」に関するいろいろな問題
 - ・ いじめへの対応（保護者と学校）
 - ・ 子どもの学校での出来事への対応
 - ・ ふれ合いスクールの運営とPTAの関係（PTAだけでやっている学校も）
 - ・ 地域との交流（よいこと、悪いこと）
 - ・ 地域コミ協と学校・PTAの関係
 - ・ PTA行事の持ち方、参加者の減少
 - ・ 通学の問題（バス通学の負担）
 - ・ 夏休みのプール開放とラジオ体操
 - ・ 学級崩壊への教育委員会と学校対応
 - ・ 父親のPTA活動参加（おやじの会）
 - ・ 市P連や区P連はどう違うの？
 - ・ 現役PTA役員への支援（経験者がバックアップ）
- 〈市P連と校長会が当日提案した「緊急対応」について〉
- ・ 発生した実際の問題状況に合わせて対応することが大切だ。
 - ・ 問題解決に当たって、当事者の話し合いにきちんと校長（学校側）やPTA会長が関わっていることが大切。

小中学生総合補償制度

- 元気づげるから心配。そんな親心を支えます。
- お子様の24時間を補償します。

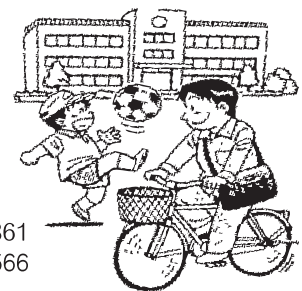
詳しい内容につきましては、下記までご連絡をお願いします。

引受幹事代理店：有限会社 新潟コーリン

TEL(025)280-0361

非幹事代理店：有限会社 保険サービスあんしん21

TEL(0250)-23-5566



幹事引受保険会社

共栄火災海上保険株式会社

新潟支社 〒951-8116新潟市中央区東中通1番町86番地16
TEL(025)229-0512

非幹事引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

新潟支店 営業課 TEL(025)241-4105

各区P連の活動 平成二十六年度を振り返って

【北区】

○ 研究大会

- ・ 期日 十一月十五日(土) 午後
- ・ 会場 北区文化会館
- ・ 主題 「今 大切にしたいこと」
 〈親子の絆〉

・ 形式 講演会

- ・ 講師 コミュニケーション・クリエーター
 ちやい 文々 様

・ 参加者 約二〇〇名

○ 区P連事業についての反省

講師は、新潟日報朝刊NIEのコーナーに月一回イラストを掲載中で親子間や夫婦間のコミュニケーションスキルのワークショップ等たくさんの方の講演をされている方である。参加者も日ごろの親子の絆について振り返ることができ、大好評だった。また、アトラクションとして地元の「松浜太鼓」の皆さんから演舞していただいた。郷土芸能として、とても素晴らしい演舞であった。更に、今年も各幹事校のPTA役員がそれぞれの仕事を分担し、協力して行うことができた。

区内各小中学校PTAとの情報交換、親睦を図るため、年二回の懇親会を実施した。とてもよい雰囲気の中、有意義な情報交換の機会となった。

【東区】

○ 研究大会

- ・ 期日 九月二七日(土) 午後
- (※市P連研究大会を兼ねて実施)

- ・ 会場 江南区文化会館 ホール
- ・ 主題 「考えよう子ども育！」
 〈知識基盤型社会と
 グローバル社会〉

- ・ 形式 講演 実践発表 演奏発表
- ・ 講師 アジア支援機構代表理事
 池間 哲郎 様

・ 参加者 四〇〇名

○ 区P連事業についての反省

市P連研究大会を兼ねての研究大会であり、東区の全小中学校の単Pの協力を得て実施することになった。各会員からは、大会終了後、仕事をなしたことができた。すばらしい機会を与えてくださったことに感謝する次第である。

【中央区】

○ 研究大会

- ・ 期日 二月一日(土)
- ・ 会場 ホテルイタリヤ軒
- ・ 主題 しあわせ脳に育てよう
 〈脳育ての黄金ルール〉

- ・ 形式 講演会
- ・ 講師 (株)感性リサーチ
 代表取締役社長 黒河伊保子 様

・ 参加者 一三六名

○ 区P連事業についての反省

平成二七年度に四小学校が統合するため、総会及び交流会で今後の組織・運営について協議した。役職・研究大会の割り振り等について今後数年分について決まったが、細部については今後さらに詰めていく必要がある。また、

昨年に引き続き交流会が行われ、研修会も含めて活発な意見交換を行った。研究大会を二月に行ったが、寒い時期であり子ども受給にも重なる等の理由から、開催時期をもっと早めにするか、という意見が寄せられた。

【江南区】

○ 研究大会

- ・ 期日 一月九日(日) 午後
- ・ 会場 江南区役所ホール
- ・ 主題 子どもたちのためにできること
 〈夢の実現のために〉

・ 形式 講演会

- ・ 講師 新潟アルビレックスベースボール・クラブ監督
 ギャオス 内藤 様

・ 参加者 約三五〇名

○ 区P連事業についての反省

五月に総会、十一月に懇親会と講演会を開催した。どの会も有意義な会となった。特に懇親会では単Pの活動の情報交換しながら懇親を深めた。

【秋葉区】

○ 区P連大会

- ・ 期日 二月一日(土) 午後
- ・ 会場 秋葉区文化会館
- ・ 内容 音楽に親しみ、子どもを支援する親の役割を考えてみた。

- ・ 形式 音楽の集い・講演
- ・ 講師 盲目のシンガーソングライター
 佐藤英里さん 母・恵美様

・ 参加者 約二〇〇名

○ 区P連事業についての反省
 秋葉区の大会当日は、あいにく大雪

の天候だったがほぼ予定通り参加していただき無事開催できた。当日参加も含め、新しい秋葉区文化会館で音楽と講演会を楽しむことができた。会場費や演奏に関わる装置等で、予定外に費用がかかった。事前に支出予定をしっかり確認する必要がある。

【南区】

○ 区P連大会

- ・ 期日 一月八日(土) 午後
- ・ 会場 白根カルチャーセンター
- ・ 主題 会員の交流の機会を設け、親睦を図る。

- ・ 形式 フロアカーリング、懇親会
- ・ 講師 南区体育指導員 八名
- ・ 参加者 一〇〇名

○ 区P連事業についての反省

春の総会では、各校の役員が南区の実情を知り情報交換することができ、有意義だった。研究大会は、恒例のフロアカーリング大会を行った。地区担当者同士の引継ぎがスムーズにでき、準備も効率的にできた。フロアカーリング大会は、交流と親睦を深めることがねらいであり、南区の特色ある活動と自負している。

【西区】

○ 研究大会

- ・ 期日 一月二二日(土) 午後
- ・ 会場 日本文理高等学校大体育館
- ・ 主題 「親子の絆はちよつとしたことなんだ」

- ・ 形式 講演・講座・実演
- ・ 講師 アルビレックスチアリーダーズ

・参加者 約三二〇名
トップメンバー様

○ 区P連事業についての反省
今年度はいろんな新しい企画にチャレンジした。(スローガン「情熱・進化」を掲げたこと、研究大会で講演と身体運動を試みたこと、参加者を親子及び一般に広げたこと、大会の参加目標を一、〇〇〇人としたこと等)

【西蒲区】

○ 研究大会

- ・期日 九月二〇日(土) 午後
- ・会場 岩室地区公民館
- ・主題 「ケータイ安全教室」
↳子どもを被害者、加害者にさせないために」
- ・形式 講演会
- ・講師 NTTドコモあんしんインストラクター 吉田美穂子 様
- ・参加者 一三三名

【区P連運営全般の反省と市P連への要望】

- ・区P連内の連絡は、メールで行った。しっかりと連絡調整ができたので、幹事校同士の連携はとてもよかったです。と思っています。また、市P連事務局とも連絡を密にできたことは、とてもよかったです。不明な点について、相談するとすぐに対応していただき、とても感謝している。
- ・市P連の事業については、引き続き今年度同様魅力のある事業を開催していただくことを希望する。
- ・市P連から区P連や単Pをよく支え

ていただいている。感謝に堪えない。区P連の組織・運営について区内で共通理解を図るとともに細部をさらに検討する必要がある。

・南区は中学校区を中心とした四つのブロックがローテーションを組んで秋の研究大会を運営したり、研修会に参加したりしている。各ブロックで小中学校が連携して円滑に活動できているので事務局としてとても助かった。また、ブロックを超えての情報交換が活発に行われ、とてもプラスになった。

・新しい試みを実施したことで区P連の理事に期待と心配をかけた。区P連研究大会に、江南区育成協議会から協力を得ることができた。次年度以降も育成協の協力を得ていく。区P連研究大会が江南区の児童生徒及び保護者や地域にとって実りあるものにしていきたい。

【会計・助成金に関わる反省・感想】

・市P連の助成金は、すべて研究大会の会場費や講師謝礼、交通費等に使用させていただいたので、助成金はありがたい。今後も、計画的に執行していく。

・助成金も十二分にあり、各役割分担からの要望にも応えることができた。講師の招聘には、それ相応の金額を必要とすることから、助成金の額はとても重要である。

・助成金が増額されたことで、区P連の活動が充実したものになった。今

後も、助成金を有効に使って、会員の資質向上・交流の促進に努めていきたい。

・秋葉区PTA大会については今年度一〇万円の補助があり、たいへん助かった。

・計画的に執行することができた。区P連の大会を実施する場合、他の内容に比べ、フロアカーリングは会場費や謝礼も比較的安価で済むため、景品代などを充実させることができた。昨年度に比べて増額になったお陰で、準備委員会の交通費を支払うことができた。

・たくさん助成金をいただき、感謝している。今年度は講師謝礼が必要なかったことで、会計執行に余裕があった。今後のことを考えると、今回のように無理をして単年度で予算を執行せずに、次年度へ繰り越して(予算のかかる)知名度のある講師をお呼びする時に使うのもよいのではないだろうか。

・前年の繰越金で不足分を支払った。助成金が多く大変ありがたかった。事業の継続には不可欠である。大会の講師が前年度に決定されており、予算不足が心配されたが、増額されたので余裕を持って実施することができた。

・前年度までの予算額より少なくなっていて困った。予定を組んでいて五万円位不足だったが、追加をしても良かった。要らない時には返すので、今年のように柔軟に執行していただけるとありがたい。

平成二十七年 度 主な事業予定

- ① 総会・年度初め研修会
期日 六月六日(土) 午後二時
会場 ANAクラウンプラザH新潟
- ② 専門部会別情報交換会
期日 六月二十七日(土) 午後
会場 東京学館新潟高校(テルサ隣)
- ③ 市P連研究大会
期日 一〇月一七日(土)
会場 朱鷺メッセ
内容 i オープニング
ii 開会式
iii 実践発表
iv 講演会
- ④ 広報紙セミナー(県Pと共催)
期日 六月一六日(火)
会場 新潟会館
- ⑤ 新潟市PTA交流会
期日 二月六日(土) 午後
会場 ANAクラウンプラザH新潟
- ⑥ 家庭教育フォーラム
※内容・日時未定(市教委との共催)

編集後記

思いの外少雪な冬が去り、新しい春が巡ってきました。市P連にとって、過去五年間は改革の連続でした。来年度は、日Pへの加入に伴い、日P・関ブロPそして県Pと手を携え、新しい一歩を踏み出すこととなります。(H)